

# 私たちの妊活手帳

---



八重垣レディースクリニック

2022年4月

# はじめに



赤ちゃんが欲しいと考えて避妊をしない夫婦生活がある場合、3か月以内で約50%、6か月以内で約70%のカップルに赤ちゃんが授かると言われています。

このことより、一般的に赤ちゃんを望んで1年以上妊娠に恵まれない場合を不妊症としております。最近では5.5組に1組のご夫婦がこれに当てはまると言われており、決してめずらしいことではありません。

また、一人目のお子さまを自然に授かって出産を経験しても、そのあと二人目がなかなか授からない、いわゆる“続発不妊”というケースも増えています。

女性の年齢が30歳を越えると妊娠率は徐々に低下し、35歳を越えると明らかに低下することが知られています。最近では女性の晩婚化、晩産化が進んでおり、このことも不妊カップルの増加の一因であると考えられます。

さらに、不妊の原因の半分は男性側にあるとも言われており、男性の精子濃度は数十年前と比べて減少傾向にあることが分かっています。

不妊は一人のせいではありません。

当院では、赤ちゃんが欲しいと望まれるご夫婦に一般不妊治療から高度生殖医療まで質の高い体制を完備し、ご夫婦ごとに最適な治療法をご提供いたします。

不妊治療は、妊娠を望むご夫婦お二人が協力し合って取りくまれることが大切です。ご夫婦に1日も早くお子さまが授かりますよう、私どももサポートできたらと考えております。

# 検査について



不妊症治療を開始するにあたっては、まず不妊の原因をきちんと追求することが大切です。検査によって不妊の原因が分かれば治療方針を立てて治療を開始しますが、検査をしても原因が分からない「原因不明不妊」も少なくありません。

検査にかかる費用は、検査の回数や目的で保険か自費かが異なります。

<女性が受ける検査>

◆ 必須検査（自費検査の費用は税抜表示です）

検査項目		検査内容	検査時期	基準値	費用 (自費の場合)
超音波検査		卵胞発育や子宮内膜の状態を見ます	卵胞期～ 排卵期		保険適用可 (1,800円)
ホルモン 検査	FSH	脳下垂体から分泌されるホルモンで、 卵胞の発育を促します	卵胞期 初期	<10mIU/mL	保険適用可 (自費の場合 項目数により 異なります  1項目： 3,000円  2項目： 6,000円  3項目： 8,000円  4項目： 10,000円)
	LH	脳下垂体から分泌されるホルモンで、 排卵を促します	卵胞期～ 排卵期	卵胞期： <10mIU/mL 排卵期： >10mIU/mL	
	PRL	脳下垂体から分泌されるホルモンで、 乳汁分泌作用があります。PRLが高 値だと排卵障害を引き起こすことがあ ります	卵胞期 初期	<30ng/mL	
	E2	卵巣から分泌されるホルモンで、子宮 内膜を厚くしたり、排卵前には頸管粘 液の量を増加させます	卵胞期～ 排卵期	排卵前で 200～400 pg/mL	
	P	排卵した後の黄体から分泌されるホル モンで、基礎体温を上昇させ子宮内膜 を整えます	卵胞期～ 黄体期	卵胞期： <1.0ng/mL 黄体期： >10ng/mL	
甲状腺機能検査 (TSH、抗TPO抗体、 FT4)		甲状腺ホルモンはホルモン作用とバラ ンスを調整する働きがあります。機能 亢進あるいは低下、 どちらも不妊の原因となります	初診時	別紙参照	保険適用可
HOMA-R (インスリン抵抗 性)		HOMA指数は、空腹時の血糖×イン スリン値÷405で値が得られます。値によ って排卵障害の診断をします	空腹時 (食後4 時間)	<2.0	保険適用可
クラミジア抗体検査 (IgA、IgG)		性感染症であるクラミジアの感染の有 無を調べます	初診時	陰性	保険適用可
抗精子抗体		精子に対する抗体の有無を調べます	随時	陰性	5,000円
AMH (抗ミュラー 管ホルモン)		卵巣の予備能を診る検査です	随時		5,000円
感染症検査		B型肝炎、C型肝炎、梅毒、HIVの感 染を調べる検査です	随時	陰性	合わせて 6,500円
血液型		Rh不適合妊娠予防のため検査します	随時		

◆ 必要な方にのみ行う検査（すべて保険適用です）

検査項目	検査内容	検査時期
子宮卵管造影検査	卵管の通過性、卵管の癒着、子宮腔の状態を調べる検査です	月経 7～10 日目頃
子宮鏡検査	子宮内腔を観察してポリープなどがいないか調べ、着床しやすい子宮かどうかみます	月経 7～10 日目頃
腹腔鏡検査	内視鏡でお腹の中を直接観察し、卵管や卵巣の状態を見たり、癒着が起こっていないかどうかを調べます	

< 男性が受ける検査 >

◆ 全て必須検査です。治療を開始されたら早めに受けてください

◆ 自費検査

検査項目	検査内容	検査時期	基準値	費用
感染症検査	B 型肝炎、C 型肝炎、梅毒、HIV の感染を調べる検査です	初診時	陰性	合わせて 6,500 円 (税抜)
血液型	血液型を調べます	初診時		

◆ 精液検査

検査項目	検査内容	検査時期	基準値	費用
精液検査	精液中の精子数や運動精子数を調べます	初診時	別紙参照	保険適用可

※感染症検査は、男性・女性ともに1年毎に必ず受けていただきます。

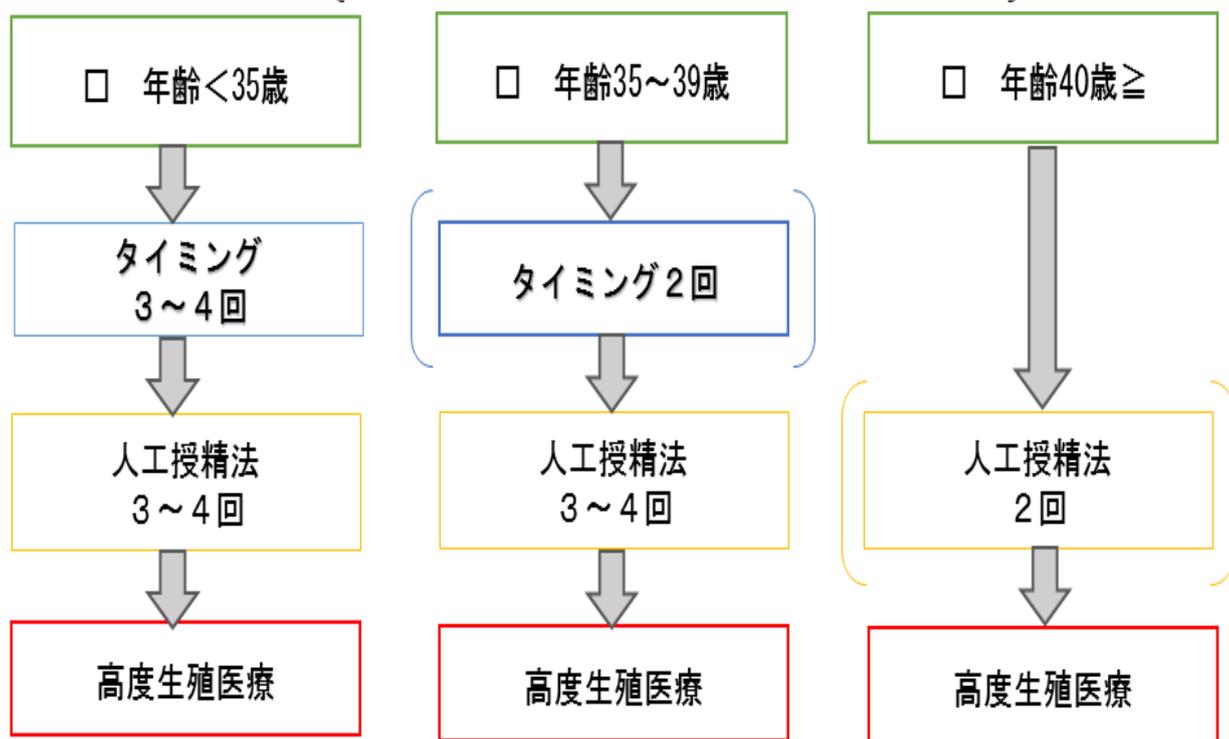
# 治療の進め方について

当院での不妊治療は、基本的に自然に近い形の妊娠を目指していただくため、タイミング法からスタートします。一定期間タイミング法を行っても妊娠に至らない場合は、その後人工授精、高度生殖医療（体外受精・顕微授精）へとステップアップしていきます。

当院でのステップアップの基準は以下の通りです。

## 治療のすすめ方

（不妊原因や背景で、早期のステップアップやステップダウンを考慮します。）



# よくある質問

## Q. 人工授精と体外受精はどう違うのですか？

人工授精は、ご主人さまの精子を採取していただいて洗浄、濃縮し、子宮内に注入する方法で、精子濃度がやや少ない方や性交障害がある方などに有効とされています。

一方体外受精は、できるだけ体内で卵子を育てて排卵前に採取し、そこに精子をかけて受精するのを確認し、培養器の中で育てた受精卵(胚)を子宮内に戻す方法です。

## Q. 女性は何歳まで妊娠出来ますか？

一般的に女性は20代～30代前半までが妊娠適齢期だと言われています。女性の年齢が35歳を過ぎたあたりから徐々に自然妊娠は難しくなっていく、38歳以降になると急激に妊娠率は下がってしまいます。

近年は体外受精などの高度生殖医療技術が発達し、年齢の高い女性でも妊娠が可能になってきました。当院では、体外受精により最高で44歳の妊娠・出産例が出ています。

## Q. 体外受精をすれば、年齢が高くても妊娠出来ますか？

体外受精をしても、年齢が高くなると妊娠は難しくなります。

そもそも体外受精とは、卵管に障害があって体内では受精が望めない女性のために研究開発された医療技術で、卵管障害のほかに抗精子抗体陽性（体の中に精子を攻撃する抗体がある）や軽度の男性不妊（精子の数がやや少なくなっている）の場合には明らかな効果が期待できます。

残念ながら年齢による卵子の質の低下をカバーする技術ではないため、妊娠率は女性の年齢に依存的になってしまうのです。

## Q. 精液検査の数値はどれぐらいが正常ですか？

WHO の基準では、精液量 1.4mL 以上、精子濃度  $16 \times 10^6/\text{mL}$  以上、精子運動率 42%以上が正常とされています。しかし、この基準は“最低”基準であり、この基準を満たしていれば十分であるとは言い切れません。

当院では、これまでの治療結果から、治療方針を決める独自の基準を作っています。精液検査の結果には多少ばらつきがありますので、場合によっては一度だけではなく何度か検査を行うことがあります。

総運動精子数(精液 1mL あたり)	適応法
5000 万以上	タイミング法
800 万以上 5000 万未満	人工授精または体外受精
800 万未満	顕微授精

※女性側に明らかな原因がある場合には、この基準が適応にならないことがあります。

## Q. 精子を増やすことはできますか？

精子を増やす特効薬はありません。ただ、精子濃度はかなりの変動があるため、一度の検査で結果がでるものではありません。

また、漢方やビタミン剤などを処方し、改善がみられる方もおられますが、精子は約 3 ヶ月かけて作られているので、長期的に飲んでいただくようお願いしています。



## 八重垣レディースクリニック

〒699-0111 島根県松江市東出雲町意宇南5丁目4-2

TEL: 0852-52-7790 FAX: 0852-52-7791